

医療情報提供シートの活用について

目的:

リハビリテーション専門職が適切な助言を行う上で、リスク管理の為に情報が不足していると感じています。リスク管理の情報はその程度等により、疾患の状態推測や予後予測、生活動作の指導等にも活用できます。疾患によって欲しい情報は異なりますが、多すぎる項目はケアマネジャーさんに大きな負担がかかることを考え、専門職で話し合って3つの項目に絞りました。

ケアマネジャーさんには、利用者さんから記載項目の聞き取りと、主治医から該当する項目のさらに詳細な情報を得て頂きたいのです。主治医への情報確認が難しいケースも考えられるので、可能な範囲での情報収集をお願いします。

各項目についての説明:

①多くの人工関節は、関節を曲げる角度に制限ができます(制限された角度以上に曲げると、人工関節の脱臼等が生じ、再度手術を行う必要があります)。病院等では脱臼や異常な摩耗が生じない、日常生活の動作指導や環境設定を行い、脱臼の予防を図っています。また脱臼予防の指導内容は部位や手術方法等によっても異なります。また、その他手術についても、疾患の状況等や心身機能の推測にもつながります。そこで、利用者さんからどんな手術を受けられたか、手術後にどんなことに注意するように病院から指示があったかの聞き取りをお願いします。

利用者さんによっては、複数の手術を受けられているケースもあります。その場合には、利用者さんからの聞き取りの中で、「生活に不便を感じられるようになった」と感じられた手術及びそれ以降の手術を記載するようにしてください。

②機能改善効果を高める為には、適切な負荷をかけることが重要ですが、低すぎる負荷では効果が得られず、高すぎる負荷は疾患を悪化させる可能性があります。特に心疾患や肺疾患は運動による影響を受けやすく、その把握は不可欠です。そこで、使用者さんからどんな場面で「動悸」「息切れ」「胸部痛」が生じるかの聞き取りをお願いします。また、利用者さん、もしくは主治医からの聞き取りで、運動負荷の指標となる、代表的な項目「血圧」「脈拍」「酸素飽和度」等が分かれば助かります。これは運動負荷の設定にも役立ちます。

③身体機能に問題が無い場合でも、意識消失があると転倒といった事故につながります。意識消失が生じる原因は様々(脳疾患、循環器疾患、呼吸器疾患、糖尿病等)です。事故を防ぐために、日常生活の活動制限や環境調整を行う必要もあります。状況によっては、意識消失を防ぐためのアドバイスも可能ですので、利用者さんから「どんな時に意識消失が生じるか」等の聞き取りも宜しくをお願いします。主治医へは、「〇〇の症状についての、原因の確認やその予後について」の聞き取りをお願いします。

その他「薬に関する留意すべき内容」「特記事項」については、特に利用者さんが生活場面で留意していることがあれば記載をお願いします。

主治医へ聞き取る内容は、利用者さんからの「どんな時に、どんな症状が現れると聞いたが、リハビリ等を行う際に注意することがあるか」「〇〇との診断名があるが、現在の疾患の状況とその予後」「リハビリや普段の生活で気をつけること」等になります。

これらの情報は、運動の処方や生活指導に重要な内容となりますので、通所や訪問事業所のセラピスト等とも情報を共有して頂ければ、より有益な助言や質の高い機能訓練にも活用できます。ケアマネジャーさんにはお手数をおかけしますが、ご協力を宜しくをお願いします。